

南部町の

全国学力・学習状況調査

(表1) 小学校6年生(125人)の国語、算数の調査結果(平均正答率)

	国語A(知識)	国語B(活用)	算数A(知識)	算数B(活用)
南部町	64.7%	47.7%	63.2%	44.7%
鳥取県	68.0%	51.7%	73.3%	52.2%
全国	65.4%	50.5%	72.2%	51.6%

(表2) 中学3年生(81人)の国語、数学の調査結果(平均正答率)

	国語A(知識)	国語B(活用)	数学A(知識)	数学B(活用)
南部町	75.6%	61.5%	67.2%	52.2%
鳥取県	75.5%	61.3%	64.4%	50.9%
全国	73.6%	60.8%	63.1%	49.2%

4月に行われた今年度の全国学力・学習状況調査について、南部町では児童生徒の状況を知っていただき、みなさんのご支援・ご協力をいただきましたと思っています。

児童生徒に関わる様々な問題や課題は学校だけでは解決できないものも多く、家庭・地域・関係機関が丸となって取り組んでいく必要があります。調査結果を南部町教育委員会はもちろん、学校・保護者・地域社会全体が受け止め、それぞれの立場でなすべきことを考え、お互いに連携しながら子ども達に関わっていかねければならないと考えています。

調査は対象学年や教科が限られているため、調査結果がそのまま南部町の小中学校の学力の実態とはいえませんが、推測できる問題点や課題について、改善をしていく必要があります。

小学校6年生について

学力調査では、国語、算数ともに県と全国の平均値を下回りました。(表1)特に算数は正答率が低い結果となり、原因を究明し、改善に努める必要があります。

学習状況調査でも、県や全国の平均に比べて「国語の勉強が好き」「国語の授業はよく分かる」といった国語に対する関心は高い傾向にありましたが、算数への関心があまり見られませんでした。

生活状況では「朝食を毎日食べている」「地域のことに関心がある」「自然の中でよく遊ぶ」「お年寄りを手助けしたことがある」等が高い傾向にあります。反対に平均を下回っているのは「普段1時間以上勉強する」という項目です。家庭学習の習慣がある児童は正答率が高い傾向にありました。家庭でも学習習慣について見直しをお願いします。

中学校3年生について

学力調査(表2)では、昨年度、県と全国の平均を下回っていた数学Bの正答率が高くなり、国語、数学ともに全国平均を上回り、ほぼ県並

みの状況です。

学習状況調査では、昨年度県平均よりも低かった「普段1時間以上勉強する」「家で学校の宿題をしている」が高くなっており、正答率が上昇した一因と考えられます。

生活状況で高かったのは、「朝食を毎日食べている」「家の人と学校での出来事について話をしている」「地域のことに関心がある」「近所の人にあいさつをする」等でした。

調査結果を見ると、小学生、中学生ともに生活状況は今までよりも良い傾向にあり、子ども達が少し落ち着いてきたことを窺わせます。

目の前のテスト結果ももちろん大切ですが、子ども達の成長にはそれぞれに差があり、学習の効果がすぐには現れない場合もあります。基礎基本と並行して、子ども達が自分の良さを感じ、将来への夢や希望を持つように周囲が関わっていくことも大切です。この調査結果の分析をさらに深め、教育施策、学校経営や学習指導、家庭・地域との連携などについて一層の工夫や改善を行っていききたいと思います。